

健康 わんだーらんど Wonder Land



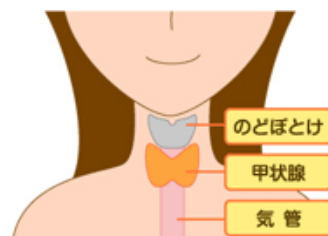
こんにちは健康ワンダーランドです。今回は“甲状腺の病気”について取りあげてみました。

「甲状腺のお話」

耀光リハビリテーション病院 病院長 大財 茂

甲状腺は、“のどぼとけ”の下にある約15gの内分泌腺です。甲状腺ホルモンの働きは、一言でいうと身体の新陳代謝促すものです。ホルモンが多いと甲状腺機能亢進症、少なすぎると甲状腺機能低下症といいます。前者の代表的な病気がバセドウ病で、後者が橋本病です（あくまで一部が低下症）。バセドウ病についてはすでに十分知られていますので、ここでは橋本病について述べます。

橋本病は1912年福岡医科大学（現九州大学）の橋本策（はかる）博士が、世界で初めてドイツ医学誌に報告したことにちなんでつけられたものです。本邦には60近くの発見者名が付く疾患があるそうですが、その中でも橋本病は一番頻度が高く、一般女性の約10%に認められます。橋本病は慢性甲状腺炎ともいわれ、臨床現場では慢性甲状腺炎の方が多用されています。患者の70～80%は甲状腺機能正常ですが、一部の患者で低下症をおこしてきます。



1. 橋本病の病因

免疫とは自分の体を守る働きです。麻疹を例にとりますと、一度麻疹にかかると麻疹の抗体が体でできることで麻疹の感染から自分の体を守っています。この免疫のしくみで自分の甲状腺組織を異物として認め甲状腺に対する抗体が作られ、この抗体が甲状腺を破壊することで病気が起きます。その発症にはバセドウ病と似た病因を持ち、遺伝的素因、環境的素因、内因性因子が関与しています。

2. 症状

(1) 甲状腺腫

殆どわからないものから、非常に大きいものまで様々で前頸部の違和感から圧迫感を訴える事が多くみられます。

(2) 甲状腺機能低下症の症状

皮膚の乾燥、寒がり、むくみ、髪の毛・眉毛が薄くなり、疲れやすい、便秘、無気力、もの忘れ、体重増加など認められます。最近増えてきている認知症の外来でも甲状腺ホルモン測定の頻度が多くなってきています。

(3) 治療

甲状腺機能が正常なら治療の必要はありません。ただし、甲状腺腫が大きい場合には、脳の下垂体から出てくる「甲状腺刺激ホルモン(TSH)」の作用を抑える目的で甲状腺ホルモン剤を服用

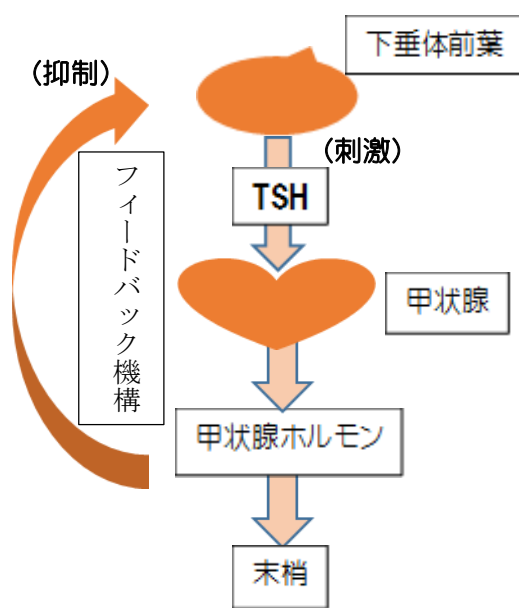


図1. TSH-甲状腺ホルモン系

します(図1)。服用しても劇的には小さくならず、やや小さくなっているか位です。

⇒ 次ページへ

検査で甲状腺機能が正常でも、その後の状態の変化(特に妊娠・出産など)により、甲状腺機能は変化することがあるので定期的検査は必要です。ホルモン値が低い場合には、これを補うためのホルモン剤を服用し続けなければなりません。

ここで甲状腺疾患のうちの経過観察すべき無痛性甲状腺炎をあげます。無痛性甲状腺炎は自己免疫疾患を背景に何らかの誘因で甲状腺が破壊されて甲状腺ホルモンが一過性に上昇してくる疾患です。甲状腺に痛みがないためこの名前がついています。橋本病を基礎に持っていると考えられますが、自己抗体陰性の例も多く正確な機序は不明です。出産、花粉症、ストレス、インターフェロン治療、分子標的薬、性腺刺激ホルモン(GnRH)誘導体治療、ヨード過剰摂取などで誘発されますが、誘因が不明なことが多いとされています。



甲状腺ホルモン値の上昇と抑制された甲状腺刺激ホルモン(TSH)のみで、甲状腺機能を判断するとバセドウ病の甲状腺機能亢進症と間違われます。バセドウ病疑いの患者の10%が無痛性甲状腺炎とされています。ホルモン値が高度に上昇していなければ、少し間を置いて再検します。甲状腺超音波検査で血流状態を確認する、バセドウ病を起こす刺激抗体の有無を確認する等で観察し、放射性ヨード甲状腺摂取率が大きな鑑別にはなりますが、施行困難な場合も多々ありホルモン値を注意して経過観察していきます。殆どの場合ホルモン値は甲状腺機能低下を経て無治療で回復します。医療者側は抗甲状腺剤での治療を行ってはいけません。何人かの患者さんが短期間に低下状態となって外来に紹介された事もありました。特に問題もなく低下状態を引き戻すための甲状腺ホルモン剤は必要としませんでした。

以下のバッジは日本甲状腺学会が出した甲状腺疾患の啓発マーク「バタフライリボン」です。甲状腺は蝶の形をしています。



色々な症例があり、甲状腺ホルモン値が極端に高値にあり諸症状が甲状腺機能亢進状態にあって苦しむ患者さんを前にしたら早く治療し改善させてやりたいと思うのが当然なことはあります。ホルモン値の検査のみで診断する事の難しさはこんなところにあります。

女性用健診着(上着)の一部種類追加について

本年10月より、人間ドック女性受診者を対象に、健診着(上着)の種類を追加し、運用を開始いたしました。これまでにいただいた受診者からのご意見を参考に、素材や機能性を検討し、女性受診者に配慮した健診着(ブラウンとローズピンクの2色)を採用いたしました。

但し、人間ドック以外の女性受診者および男性受診者はこれまで通り、半袖シャツと上下ジャージでの運用となります。

健康増進センターでは今後も、受診者の方々への極め細やかな配慮とサービス向上に努めてまいります。



※ブラウンとローズピンクの2色を揃えています

◆ “受付”に関する待ち時間・所要時間を調査しました！



“健診受付”について、待ち時間および所要時間を調査しました。今回より、利便性と信頼度の向上を図る目的で施設内システムの動態バーコードを用い、「受付開始」「受付終了」の時間を読み取り算出しました。また、調査対象の方には、健診終了後に待ち時間に関するアンケートを実施しました。今回収集させていただいた調査データとご意見を参考に、皆様により満足いただける健診施設を目指して参ります。

～ 健康増進センター受診者満足度検討チーム～

【調査期間と対象】

〈期間〉平成29年5月22日(月)～5月26日(金)の5日間

〈対象者〉左記期間中の健診受診者：101名

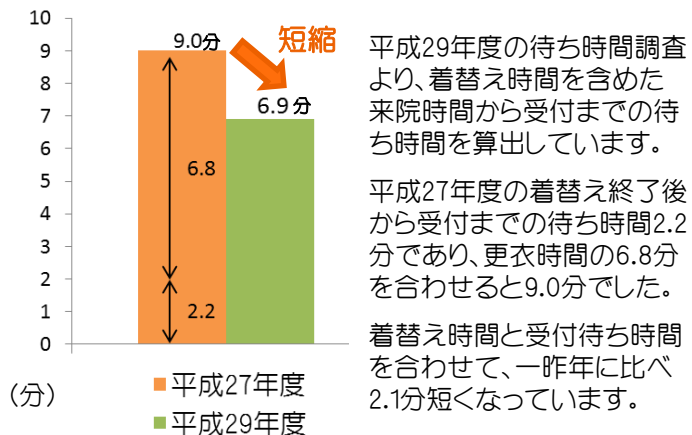
● 受付の平均待ち時間および所要時間（調査日別）

	5/22 (月)	5/23 (火)	5/24 (水)	5/25 (木)	5/26 (金)	平均時間 (標準偏差)
平均受付待ち時間(分)	7.6	4.8	12.5	5.7	3.8	6.9分 (±3.4)
平均受付所要時間(分)	5.9	5.3	4.5	4.7	3.5	4.8分 (±0.9)
調査対象者数	20	18	21	22	20	合計:101名

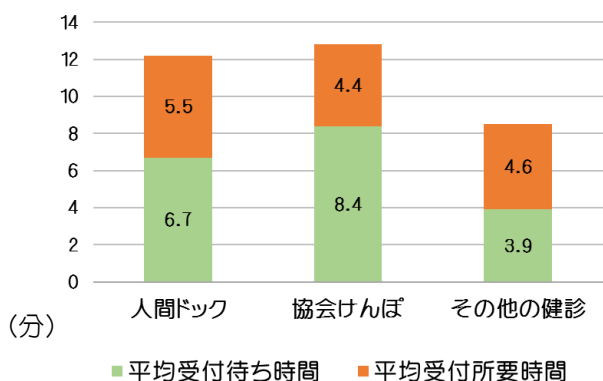
【受付待ち時間】※来院時から受付までの時間
着替えの時間を含めた受付開始までの待ち時間です。

【受付所要時間】※受付から受付終了までの時間
受付開始から書類の確認作業が終了するまでの所要時間で、問診票未記入や記入漏れなどがあれば長くなる場合があります。

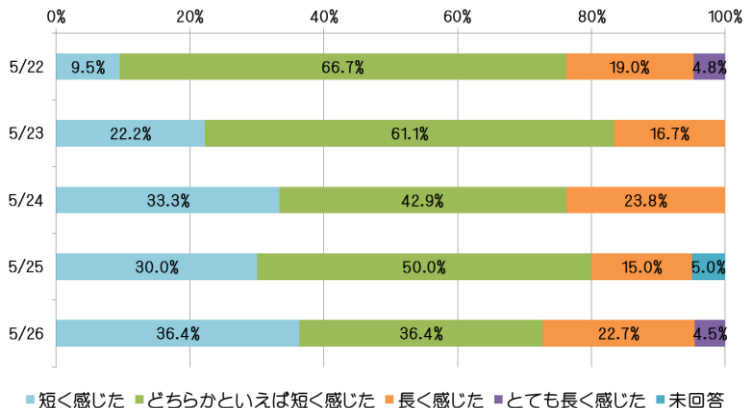
● 前回調査の平均受付待ち時間との比較
※更衣室での着替え時間を含めての比較



● 健診コース別での平均受付待ち時間の比較



● 受付の待ち時間が長いと感じた方の割合



- 調査日別の受付の平均待ち時間および所要時間についてみると、平均受付待ち時間(着替え時間含む)が6.9分、受付の平均所要時間が4.8分でした。前回の調査(平成27年度)に比較し、平均受付待ち時間(着替え時間含む)が2.1分短縮しており、今後も引き続き注視して参ります。
- 健診コース別での平均待ち時間および所要時間の比較では、所要時間に各コースで大きな違いはありませんでしたが、待ち時間(着替え時間含む)では、顕著な差を認めました。今回の調査結果をもとに、待ち時間に影響する要因を詳細に分析し、対策を図って参ります。
- 今回の調査で、約2割の方から受付待ち時間が長いとのご回答がありました。その日ごとの状況に応じて、待ち時間の発生を早めに予測し、受診者の皆様に適宜情報提供を行い、待ち時間に対するご負担の軽減に努めたいと思っております。

佐世保中央病院 健康増進センター 基本理念と基本方針

【基本理念】

受診者の健康を支援し、活力のある地域社会の実現に貢献します。

1. 生活習慣病の早期発見と予防の啓発に努め、健康の維持・増進をサポートします。
2. 検査技術や診断機器の精度向上を常に心がけ、質の高い健康診断を提供します。
3. 健康診断や保健指導を通して、受診者のライフスタイルを考えた継続的な支援を行います。
4. すべてのスタッフが相互に協力・連携して、受診者の皆様に満足いただけるサービスを提供します。
5. 健康診断業務で得られた個人情報の守秘義務と、受診者ご自身の知る権利を遵守します。

健康増進センター 診察担当医

	月	火	水	木	金
午前診察	常勤医： 中尾・寺園・川内 非常勤医： 黒田・唐田				
午後診察	※ 毎日3~4名の医師が担当いたします				
乳がん検診	佐々木	丸山	佐々木	碓	森
婦人科検診	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸

健診に関するご予約・お問い合わせについて

☆健診をご希望の方は、**完全予約制**になっておりますので、健康増進センター窓口にお越しいただくか、お電話およびホームページからのご予約をお願い致します。

○お問い合わせ時間

月～金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00

○休診日 土・日曜日、祝日 8月14日～15日（夏季） 12月30日～1月3日（年末年始）



【健康増進センター直通】

電話番号 (0956)33-5335

FAX番号 (0956)33-5336

メールアドレス sch-kenkoh@hakujujikai.or.jp

右のQRコードをご登録してアクセスいただければ
当施設ホームページから人間ドックのご予約ができます。



編集後記

早いもので、今年も残すところ1ヶ月となり、この健康ワンダーランドも本年最後の発行となりました。一年間ご愛読いただき有り難うございました。さて、本号では甲状腺の疾患について、担当医師から詳しい情報提供を行わせていただきました。ご参考いただければ幸いです。次回発行日は、来年1月を予定しています。どうぞご期待ください。

